

令和4年度 長崎大学大学院教育学研究科 (専門職学位課程) 学生募集概要(第2次)

1 専攻及び募集人員

教育学研究科教職実践専攻は、「的確な子ども理解力」を起点とした現場力の育成を目指し、児童生徒のニーズに的確に対応することができ、学校現場でリーダーとなれる教員及び学校の機能を向上させるマネジメント能力を備えた教員の養成を目的とする。そのため、本専攻では、教育の基本的な5領域(①教育課程の編成・実施に関する領域、②教科等の実践的な指導方法に関する領域、③生徒指導、教育相談に関する領域、④学校経営、学級経営に関する領域、⑤学校教育と教員の在り方に関する領域)に加えてICT活用に関する知識・技能を獲得し、教育現場での実践を重ねることによる教育課題解決に向けた実践力の向上を図る教育課程を編成している。

専攻	コース	概要	募集人員
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	子どもたち一人ひとりの個性と教育的ニーズを的確に把握し、適切な指導と支援を行うことのできる高い専門知識と実践力を持つ教員を養成する。	7人程度 (若干名)注
	学級経営・授業実践開発コース	活力ある学級を作り、効果的な授業を実践できるとともに、学級・学校の機能をより向上させるマネジメント能力と、適切な教育課程を編成する力、授業を改善する力等を備えた、高い実践力を持つ教員を養成する。	
	教科授業実践コース	教科内容に対する確かな理解と児童・生徒に対する深い理解に基づき、各教科を効果的に指導することができる高い授業実践力を持つ教員を養成する。	
	管理職養成コース(1P)	「長崎県校長等としての資質の向上に関する指標」に示された管理職に求められる高い識見を備え、高度な組織マネジメントを行う素養を持つ教員を養成する。	

(注) 募集人員における()内は、外国人留学生の募集人員で内数である。

2 出願手続(本研究科所定の出願書類等を使用のこと。)

[1年プログラム申請者]

- (1) 出願期間 令和3年10月4日(月)～令和3年10月7日(木)
- (2) 検定料振込期間 令和3年10月26日(火)～令和3年10月29日(金)
- (3) 出願書類等提出先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号
長崎大学人文社会科学域事務部北地区事務課大学院第二係

[2年プログラム・3年プログラム申請者]

- (1) 検定料振込期間 令和3年10月26日(火)～令和3年10月29日(金)
- (2) 出願期間 令和3年10月26日(火)～令和3年10月29日(金)
- (3) 出願書類等提出先 〒852-8521 長崎市文教町1番14号
長崎大学人文社会科学域事務部北地区事務課大学院第二係

3 試験期日

令和3年11月27日(土)

4 合格者の発表

令和3年12月23日(木) 10時

教育学部玄関前に掲示(～17時)するとともに、合格者に対し合格通知書を発送する。

また、同日午前10時以降、長崎大学大学院教育学研究科ホームページに合格者の受験番号を掲載する。

(アドレス: <https://www.gedu.nagasaki-u.ac.jp/>)

なお、電話による合否についての問い合わせには一切応じない(FAX・電話による通知も一切行わない)。

5 入学者選抜方法

I. 一般入試及び外国人留学生入試

入学者の選抜は、学力検査〔筆記試験（実技を含む）及び面接試験〕及び提出された書類の審査結果を総合して行う。

ただし、1年プログラム（現職教員のみ）の履修を希望する場合は、本研究科と長崎県教育委員会等で構成する判定委員会で審査を行う。

II. 学力検査科目

(1) 1年プログラム【一般入試のみ】

提出された書類に基づき、学校教育や実践研究等について面接試験を行う。

(2) 2年プログラム・3年プログラム共通（筆記試験を課す者）

専攻	コース	筆記試験（実技を含む）		面接試験
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	専攻共通科目： 「学校教育に関する問題」	コース選択科目： ①「児童生徒理解に関する分野」 ②「特別支援教育に関する分野」 上記①又は②から1つを選択。（注2）	提出された書類に基づき、学校教育や実践研究等について面接試験を行う。
	学級経営・授業実践開発コース	○教育課程の編成・実施に関する分野	コース選択科目： 「学級経営と授業実践に関する分野（教育課程の編成・実施及びICT活用を含む）」	
	教科授業実践コース	○教科等の実践的な指導方法 ○生徒指導に関わる分野 ○学校経営・学級経営に関する分野 ○教員の在り方に関わる分野	コース選択科目： 別表1に示す①～⑨から1つを選択。 ① 国語 ② 社会 ③ 理科 ④ 音楽 ⑤ 美術 ⑥ 保健体育 ⑦ 技術 ⑧ 家庭 ⑨ 英語	

(注) 1. 入学志願票、写真票及び受験票の該当欄に受験する科目等を記入すること。

2. 子ども理解・特別支援教育実践コースの受験者においては、受験するコース選択科目は、「実践研究計画書」の内容と一致する分野の科目であること。

(3) 2年プログラム・3年プログラム共通（筆記試験を免除された者）【一般入試のみ】

提出された書類に基づき、学校教育や実践研究等について面接試験を行う。

(注) 次の推薦要件に該当し、人物に優れ、志願者の所属する学部（又は大学）等の長が責任をもって推薦できる者で、合格した場合には入学することを確約できる者については、筆記試験を免除する。

〔推薦要件〕 以下のA、B又はCのいずれかに該当すること。

A. 現職教員。

B. 公立学校教員採用選考試験の第一次試験（これに類する名称を含む筆記試験）に合格し採用候補者名簿登載期間の延長を申請した者又は申請予定の者。

C. 学業成績に優れている者。

別表1 教科授業実践コース選択科目

番号	選択科目	内 容
①	国語	A及びBの2科目を出題する。 A. 「国文学」 B. 「国語学」, 「漢文」から1つを選択。
②	社会	「地理歴史」, 「公民」から1つを選択。
③	理科	「物理学」, 「化学」, 「生物学」, 「地学」, 「理科教育」から1つを選択。
④	音楽	A及びBの両方を課す。 A. 小学校の歌唱共通教材或いは中学校の歌唱教材の中から任意の1曲を弾き歌い する。 B. 声楽, ピアノ, 器楽(管弦打楽器)のいずれかで, 任意の楽曲を演奏する。
⑤	美術	A～Eから1つを選択。 A. 「美術科教育」(筆記試験) B. 「美術理論・美術史」(筆記試験) C. 「絵画」(実技試験) 人物デッサン (用意するもの) 素描用具一式(鉛筆, ねりごむ等) D. 「彫刻」(実技試験) 摸刻(塑造) (用意するもの) 塑造制作に必要な用具(粘土ベラ, スケッチブック, 鉛筆等) E. 「工芸(陶芸)」(実技試験) 手びねりによる (用意するもの) 手びねりに必要な用具(粘土ベラ, 切り糸, なめし皮, 鉛筆 等)
⑥	保健体育	「保健体育総合」(保健体育に関する総合的な知識を問う。)
⑦	技術	「技術総合」(技術・家庭(技術分野)に関する総合的な知識を問う。)
⑧	家庭	「家庭総合」(家庭科の各分野から出題する。)
⑨	英語	「英語」(英語学・英米文学・異文化理解・英語科教育法の分野を含む総合的問題 を出題する。)

(4) 試験期日及び時間

専攻	コース・プログラム	11月27日(土)		
		筆記試験(実技を含む)		面接試験
教職実践専攻	子ども理解・特別支援教育実践コース	専攻共通科目 9:00~10:00	コース選択科目 10:50~11:50	13:20~
	学級経営・授業実践開発コース			
	教科授業実践コース			
	管理職養成コース			

1. 受験者は、試験開始20分前までに入室、着席すること。なお、面接試験においては試験開始30分前までに面接控室に入室、着席すること。
2. 試験開始後30分以内の遅刻者は受験を認めるが、試験時間の延長はしない。また、30分を超える遅刻者には受験を認めない。ただし、面接については、試験開始30分前を過ぎて面接控室に入室した場合、特別な事情がない限り、受験を認めない。

